

各学会の学会賞

2011年9月25日に各学会のウェブサイトより調査（順不同）

●日本応用動物行動学会

http://odokon.org/society_aboutawards/

学会賞

応用昆虫学および応用動物学上顕著な業績を挙げた会員にこれを贈ります。

奨励賞

応用昆虫学および応用動物学の進歩に寄与するすぐれた研究をなし、将来の発展を期待しうる若手の会員(40歳未満)にこれを贈ります。

各年度の授賞は、学会賞2件、奨励賞2名以内という規定がありますが、通常2名ずつの受賞者が選ばれます。

●日本動物学会

http://www.zoology.or.jp/news/index.asp?patten_cd=12&page_no=54

学会賞：

本会会員で学術上、有益で動物学の進歩発展に重要な貢献をなす業績を挙げられた研究者（個人またはグループ）に贈られます。

奨励賞：

本会会員で活発な研究活動を行い、将来の進歩、発展を強く期待される若手研究者に贈られます。

女性研究者奨励 OM 賞

本賞は、本会会員である女性研究者で、優れた研究を推進しようとしている方を対象としています。とくに、安定した身分で研究を続けることが困難であるが、強い意志と高い志を持って研究に意欲的に取り組もうとする方を支援したいと考えます。

藤井賞について

藤井賞は、本会会員であられました故藤井良三先生ご寄付に基づき、論文賞受賞者の中で特に優れた論文を表彰する目的で創設された賞です。前年度の「Zoological Science」の論文賞(Zoological Science Award)の受賞者の中から特に優れた論文、1 件（1 論文の著者および共著者）に与えられます。

Zoological Science Award (論文賞) について

Zoological Science Award とは、年度内に Zoological Science に掲載された論文のうち、特に優れた研究に対して贈られるものです。受賞資格は特に定めません。論文の選考は Zoological Science Award 選考委員会で年一回行い、専門分野別に複数の授賞候補論文を理事会、評議員会に答申し、審議を経て授賞を決定します。

成茂動物科学振興賞

成茂科学器械研究所様からは、本学会に対し、長年、学会大会時のシンポジウム開催支援、企業展示、Zoological Science への広告など数多くのご支援をいただいております。2010 年度より「成茂動物科学振興賞」を創設し、受賞者には成茂動物科学振興基金から賞金 50 万円が授与されることとなりました。日本動物学会理事会では、2009 年より、成茂様のご意志を受け、成茂動物科学振興賞選考規程について審議を行ってまいりましたが、2010 年 3 月 20 日（土）の第二回理事会で決定を見ましたので、公募を開始いたしました。公募要領および選考結果は、以下の各年度のページをご覧ください。なお、公益信託成茂動物科学基金へ合わせての応募も可能です。

動物学教育賞

日本動物学会は、「動物学教育賞」を創設しました。活発な啓蒙活動等により動物学の社会への普及に著しく貢献した個人または団体に「動物学教育賞」を授与し、その功績を表彰することを目的とします。

●景観生態学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jale/poster.html>

日本景観生態学会大会ポスター賞

日本景観生態学会大会において優れたポスター発表を行った若手の個人会員を表彰し、

- a. 論文内容・発表技術の向上に寄与する
- b. 研究者・技術者等の参加意欲の向上を図る
- c. 日本景観生態学会大会の活性化を図る

ことを目的とする。

● 日本動物行動学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/jes2/rules.html>

日本動物行動学会賞

以下の各項目のいずれかにおける顕著な業績に対して、日本動物行動学会会員（以下、本学会員）に与える。業績は、選考の時点で原則として過去5年以内に学術誌などに公表されたものとする。（1）動物の行動に関する新たな現象の発見、（2）動物の行動に関する新たな理論の構築あるいは既存の理論の発展、（3）動物の行動を研究する新たな方法の開発あるいは既存の方法の改良

日本動物行動学会日高賞

動物行動学の普及など社会との橋渡しにおける顕著な業績に対して、本学会員に与える。業績は、選考の時点で過去10年程度以内に学術誌や一般書、その他マス・メディアなどを通じて公表されたものなどとする。

● 日本生態学会

http://www.esj.ne.jp/esj/J_Rule.html#J_RuleTop

日本生態学会賞

本学会員で、顕著な研究業績により生態学の深化や新たな研究展開に指導的役割を果たし、本学会員により推薦された者の中から、以下に述べる選考を経て選ばれた者に授ける。なお、受賞は毎年原則として1名とする。

日本生態学会賞功労賞

本学会の運営・活動又は生態学の普及・発展に特に目覚ましい貢献をし、日本生態学会会則第4章第11条に掲げる役員により推薦された者の中から、以下に述べる選考を経て選ばれた者に授ける。

日本生態学会宮地賞

生態学の優れた業績を挙げた本学会の若手会員で、自薦による応募者もしくは本学会員により推薦された者の中から、以下に述べる選考を経て選ばれた者に授ける。なお、授賞は毎年原則として3名とする。

日本生態学会大島賞 細則

例えば野外における生態学的データの収集を長期間継続しておこなうことなどにより生態学の発展に寄与している本学会の中堅会員を主な対象とし、自薦による応募者もしくは本学会員により推薦された者の中から、以下に述べる選考を経て選ばれた者に授ける。なお、授賞は毎年原則として2名とする。

Ecological Research 論文賞 細則

日本生態学会欧文誌 **Ecological Research**

の各巻（年6号）に掲載された論文の中から、特に優れた論文2編程度を選考し、それらの著者に贈る。尚、**Ecological Research** への投稿は会員以外にも開放されており、本賞の受賞者も会員に限らない。

日本生態学会全国大会賞

若手研究者を奨励するために、全国大会での優秀なポスター発表を行った若手会員に日本生態学会全国大会賞（以下ポスター賞という）を授ける。ポスター賞（種別）ポスター賞は発表分野ごとに「最優秀賞」（1名；"該当者なし"もある）および「優秀賞」（1, 2名）を選出する。応募数が少ない分野では、「最優秀賞」（あるいは「優秀賞」）のみとなることもある。

●野生生物保護学会

<http://www.wcsjpn.org/info/kiyaku/hyousyou.html>

学会賞

学会賞の対象は、本会が学術定期刊行物として発行する和文誌または英文誌に過去5年以内に合計して3報の原著論文を筆頭著者として発表した会員とする。

なお、奨励賞の対象となった業績は、原則として対象としない。

奨励賞

奨励賞の対象は、本会が学術定期刊行物として発行する和文誌または英文誌に合計して3報の原著論文を筆頭著者として発表し、かつ、第3報目の論文が受理された年度末において満35歳以下である会員とする。

功労賞

功労賞の対象は、本会の運営活動及び後進者の指導育成について顕著な業績をあげ、か

つ、原則として受賞年度末において満 50 歳以上の会員とする。

● 日本魚類学会

<http://www.fish-isj.jp/iin/award/kisoku.html>

論文賞

本学会が過去 3 年間に発行した学会誌（Ichthyological Research および魚類学雑誌）に掲載された優れた論文の著者。

奨励賞

優れた研究成果をあげ、魚類学の進歩に寄与し、将来の発展が期待される 40 才未満の者。

● 生態工学会

<http://www.see.gr.jp/what/rule.html>

表彰は、特別功績賞、功績賞、生態工学会賞、論文賞、技術賞、貢献賞、奨励賞を本学会会員に授与する。

（特別功績賞・功績賞）

特別功績賞および功績賞は、生態工学会ならびに生態工学関連領域の発展に顕著な貢献をしたものにその功績をたたえて授与する。

（生態工学会賞）

生態工学会賞として、学術賞と功労賞を設ける。学術賞は、生態工学関連領域の研究、技術について、体系的、かつ、総合的に評価できる学術上の業績を上げたものに授与する。功労賞は、生態工学会の運営と生態工学の普及に顕著な貢献をなしたと認められた個人もしくは団体に授与する。

論文賞は、当該年度を含む過去 5 年間に本学会学会誌に研究業績として発表し、これが生態工学研究領域における学術、技術の進歩発展に独創的・顕著な貢献をなしたと認められるものに授与する。

技術賞は、生態工学関連領域において、貢献した技術を開発、普及した個人もしくは団体に授与する。

貢献賞は、生態工学会の運営と生態工学の普及に貢献をなしたと認められた個人もしくは団体に授与する。

奨励賞は、当該年度を含む過去3年間に本学会学会誌ならびに本学会の刊行物に研究業績として発表し、将来の発展が期待されると認められるものに授与する。年齢は、30歳以下を対象とする。

●日本進化学会

<http://sesj.kenkyuukai.jp/special/?id=1428>

日本進化学会賞 (Eminent Evolutionalist Award)

「日本進化学会賞」は、進化学や関連する分野において学術上非常に重要な貢献をした者に、故木村資生博士の当分野における世界的な業績を記念して授与されます。受賞者は日本進化学会会員であるか否かは問いません。原則として毎年1名に授与され、受賞者には学会からの賞状・メダルに加えて、公益信託進化学振興木村資生基金の「木村賞」受賞候補者として推薦されます。木村基金からは賞状及び100万円が贈呈として送られます。

研究奨励賞 (Young Scientist Initiative Award, SESJ)

「研究奨励賞」は、進化学や関連する分野において、研究業績上大きな発展が期待される若手の学会員に授与されます。毎年それぞれ若干名に授与され、受賞者には学会からの賞状が送られます。

教育啓蒙賞 (The Award for Education and Enlightenment, SESJ)

「教育啓蒙賞」は、進化学や関連する分野において、教育啓蒙に大きな功労のあった者に授与されます。毎年それぞれ若干名に授与され、受賞者には学会からの賞状が送られます。